

大津小便り

平成二十七年
 十二月十七日(木)
 文責 吉良智恵美

文部科学省指定研究開発学校 「生活数理」中間発表会：終了

去る十一月十九日(木)の午後、文部科学省指定研究開発学校の中間発表会(二年次発表会)を行いました。

県義務教育課の審議員、菊池教育事務所からは所長他ほとんどの所員の皆さん、県人権同和教育課長などのご来賓をはじめ、二百名を超す教職員の皆様や保護者・地域の皆様のご参加を得ることができました。

新教科「生活数理」のデビュー。

授業者は、松浦教諭(一年「足りませんが、足りませんか」)、齋藤教諭(二年「来て来て、おもちゃまつり」)、荒木教諭(三年「おいしいよ。大津のからいも」)、板楠教諭(四年「未来につなごう大津の水」)、徳永教諭(五年「大津小坂ごみ解決プロジェクト」)、渡邊教諭(六年「卒業サプライズ」大作戦)、敷地教諭・今坂教諭(こすもす2「スマイルパーティーをしよう」)、宮野教諭(ひまわり「スマイルパーティーをしよう」)の九名、8授業の公開でした。教科の特性や目指す力を出来るだけコンパクトにまとめた研究紀要やオリエンテーションも好評で、授業後のアンケートでも、「子どもの姿が全てだ」と思う。すばらしいの一言、「先生方のプロ意識に感動を覚えた。そのことが児童にも伝わっていると感じられ、児童の輝く多くの発言につながっていた。」、「全ての子どもたちが、生活数理に好感を持ってくれているような授業内容で、これから研究してもらいたい(保護者)」、「授業中の子どもたちの主体的な態度から、生活数理の可能性を感じた。」、「わずか二年ほどの実践なのに、すぐに進んでいて驚いた。」、「また研究会等があれば、参加させたい。」、「また研究会等が成果を認め応援する言葉を多数、頂きました。

ホームページ、見てもらっていますか？随時、学校行事の様子など、情報を更新していきますので、そちらも見ていただくと有り難いです。

「生活数理」は、まだまだ成長の段階にあります。中間発表に向けた授業準備の中で、より具体的になってきた視点もあります。笠井教科調査官の講演においても、本校研究の方向性を示して頂きました。残された課題の一つである「評価」については、来年の二月十日に、学芸大学の西村先生と鹿児島大の山口先生に本校頂き、本校へのアドバイスを含めた講演をしてもらう予定です。

中間発表会の開催に際し、PTAの役員さん方にも協力して頂きました。本当に、有り難うございました。

二十七年度「ふれあい祭」大盛況

さて、中間発表後の二十一日(土)は、PTA主催による「ふれあい祭」でした。今年で二十四回目となる伝統のPTA行事です。「肥後手まり」「梅の造花」「おしぼな」「紙すき・絵付け」の実演コーナーに加え、紙飛行機・けんぱた・ビー玉・お手玉・たこあげなど、十一ヶ所での「伝承遊び」のコーナーが設置されました。本校器楽部の演奏で開会、大津中のマーチングを見せてもらうと子どもたちは、それぞれに実演コーナーや伝承遊びコーナーに行っていました。大津太鼓の皆さんの太鼓演奏を聴きながら、途中からは、バザーやうどん、芋天、綿菓子やポップコーンなどの販売も始まり、子どもも大人も一緒に楽しみました。「ふれあい祭」の最後は、体育館でのスタンプリリーの抽選会。「ガリガリ君」や「お楽しみ袋」をもらって大喜びの子どもたちでした。PTA役員さん、保護者の皆さん、ありがとうございました。天気もくずれず、昨年以上の参加者だったようです。



たこ揚げの「たこ」作り



紙をすいて葉書づくり



五年生「生活数理」

二年生「生活数理」



退職校長会から、パンジーの苗をいただきました。今月の研究発表会に間に合うようにご配慮いただきました。有り難いです。さくら草の苗は、教頭先生と吉良守一先生が、お世話してくださっています。

「菊池郡市明るい社会づくり協議会」(田中康夫会長)から、三万円の図書券をいただきました。会員さん方のご厚意だとのこと。ありがとうございます。本校の図書室を案内し、図書委員会の取組などを紹介しました。